

【島のくらしの情報】

平郡島(柳井市)

<p>① 仕事(収入)の状況</p>	<p>【農業】 サツマイモ、甘夏、みかん等 耕作放棄地が多くあるため、そこを活用して新規就農することも可能です。※畑で野菜を自給自足している方も多いです。</p> <p>【漁業】 タコ壺漁、一本釣り漁、ひじき・サザエの採取等 新規就労者、歓迎です！</p> <p>【畜産】 山口型放牧(耕作放棄地を利用した放牧方法) 新規就労者、歓迎です！</p> <p>他デイサービスセンター、農協等でも、随時職員を募集しています。</p>
<p>② 住居の状況 (貸家、空き家など)</p>	<p>【公営住宅】 なし 【空き家バンク登録物件】 平郡東地区:1軒(賃貸) 平郡西地区:1軒(売買) http://www.city-yanai.jp/soshiki/3/akiya-bank.html (柳井市ホームページ)</p> <p>●お問合せ:地域づくり推進課 電話0820-22-2111 内線461</p>
<p>③ 医療環境の状況</p>	<p>【診療所】平郡東地区:1か所(平郡東診療所 診療日:火曜日、水曜日) 平郡西地区:1か所(西平郡出張診療所 診療日:月曜日、木曜日) ※医師(1人)、看護師(1人)は、東地区に居住しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急患は、ドクターヘリコプターや、救急船などで島外の総合病院へ運んでいます。 ・眼科、歯科等、科目によっては島外に通院することになります。 ・柳井市内に、1か所の総合病院(周東総合病院)があります。 ・柳井市妊婦・乳幼児健康診査実施要綱に規定する健康診査の種類・項目を受診される際に、平郡航路を利用された場合、その往復の船賃、また分娩時の宿泊費1泊分を補助する制度があります。

④ 福祉環境の状況	<p>【老人福祉施設】 平郡東地区：1か所(平郡デイサービスセンター) 平郡西地区：なし(平郡デイサービスセンターまで車で約20分)</p> <p>●お問合せ：社会福祉法人柳井市社会福祉協議会 電話0820-47-2011</p>
⑤ 教育環境の状況	<p>【小学校】 平郡東地区：1校(平郡東小学校) 児童数：6人(5年生：1人 4年生：2人 3年生：2人 2年生：1人) 先生：3人 平郡西地区：1校(平郡西小学校(休校中))</p> <p>【中学校】 なし(柳井中学校に毎日通学している生徒が1人います。市では通学支援事業を行っており、海上運賃の一部を補助しています。)</p> <p>【高校】 なし</p>
⑥ 上下水道・電気・ガスの状況	<p>【上水道】 あり(普及率：100%)</p> <p>【下水道】 なし</p> <p>【電気】 全戸使用可</p> <p>【ガス】 プロパンガス</p>
⑦ 本土との交通手段 (費用、時間、便数など)	<p>【航路】 フェリー 山口県柳井市柳井港(最寄りの駅はJR柳井港駅。同駅から柳井港まで徒歩で2分)から平郡へ。 フェリーを利用：フェリー「へぐり」で平郡西港まで60分(1日2便) 大人1,540円 平郡東港まで100分(1日2便)大人1,540円 ※フェリーには旅客(258名)、車両(トラック4台または乗用車8台)搭載可能(大きさによって料金が異なります。)</p>
⑧ 島内の交通手段 (費用、便数など)	<p>【島内交通】なし</p>

<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>【買い物場所】平郡東地区：2か所（JA売店、酒屋） 平郡西地区：3か所（JA売店、雑貨屋（2））</p> <p>※商品の品ぞろえが少なく、価格は、本土より若干高めです。 島内で売られていないものは、島外へ出向き買い物をしています。柳井市中心街にはお店が密集しているため、買い物は非常に便利です。通信販売、生協の利用者もいます。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>年々UJIターン者が増えています。</p>
<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>・短期滞在を希望される方は、お試し住宅「夢びと」をご活用ください！島の生活や気候、風土を体感していただけます。 また、島での仕事探しとして、希望者は農業・漁業体験ができます。</p> <p><利用案内> 賃料：20,000円（1か月）</p> <p>●お問合せ：地域づくり推進課（0820）22-2111 内線461</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>・空き家バンク制度を利用されると、空き家改修費補助金、空き家残存家財等処分費補助金を活用することができます。 ・農業、漁業が未経験という方への研修制度や島のベテラン農家、漁師からの指導、サポートを受けることができます！</p> <p>●お問合せ：地域づくり推進課（0820）22-2111 内線461</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らし方について伝えておくべき必要な情報</p>	<p>・Iターン希望者は、島の暮らしに馴染めるかどうか、事前に島での短期ステイ（1か月程度）を体験されることをお勧めします！ ・地区の一斉清掃やイベントに積極的に参加し、自分から地域に溶け込む努力をすることが大切です。</p> <p>●お問合せ：地域づくり推進課（0820）22-2111 内線461</p>